

The 2 Chome Times 2020年6月号

NO1のプレミアムストリートをめざして

NO265.

2020・6月・25日



発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス6月号

編集：企画・商業振興部、編集長：芹澤邦明 <http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com



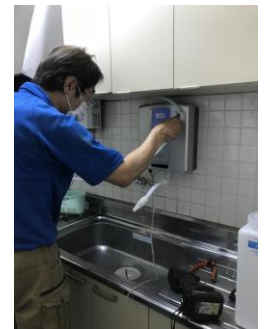
フェイスブックでも発信しています <https://www.facebook.com/centergai2/>



2丁目目でKOBE Free Wi-Fi ご利用いただけます

★次亜塩素酸水を2丁目に設置いたしました

6月3日に先月初めに発注していましたホシザキ(株)の次亜塩素酸水を作れる機械がついに2丁目に納品されました。新型コロナが席卷する中、この器械は大人気で約1か月納品に時間が掛かりました。現在に至っては担当者曰く、次回何時納品できるかわからないとのこと。サンセンタープラザ西館の6階に安廣社長の御英断で設置することが出来ました。やっとこれで各店内の除菌や手の消毒に恐れることなく取り組めますね。ご入用の組合員皆様は2丁目事務局 (Tel331-3091：午前10時から午後4時) までご連絡ください。無料で次亜塩素酸水をお譲りいたします。皆さんで力を合わせて新型コロナウイルスに打ち勝っていききたいものです。



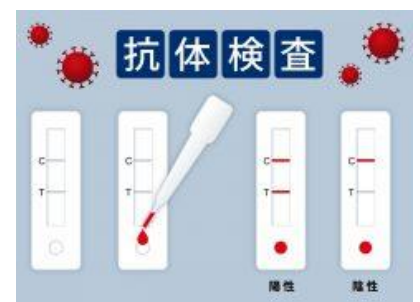
★第17回神戸ワインのラベルが決定しました

この秋に皆様にお配りする恒例の神戸ワインのラベルが決定しました。それはお馴染みの神戸が生んだ木版画家・川西 英先生の「花隈」という作品です。花隈はかつて150軒を超える料亭やお茶屋が並び、千人近い芸者を抱え華やいだ花街です。筆者自身(そこそこの年齢なのですが)はその頃の様子について全く知識はありませんが、何か良き昭和の風景として懐かしく感じられる作品です。この木版画の右手前は「吟松亭」という料亭で、その昔、初代兵庫県知事の伊藤博文が仮住居としていたそうです。ちょっと驚いてしまいますよね。これからも神戸と深い関わりのある川西 英先生の「神戸百景」から素晴らしい作品を年々採用していく予定です。これからもお配りするワインボトルの全てを残していけばワインセラーが小さな美術館になるかもですよ！



★新型コロナ抗体検査が始まりました

6月8日より私達の街のホームドクターであるサンプラザ3階「竹村クリニック」で新型コロナウイルスの抗体検査が始まりました。これはPCR検査と違い既にコロナウイルスにかかって治癒し、約2週間後に出来る抗体を検査するものです。血液を微量採取して専門の機関に送り3~4日後に結果が出るということです。抗体があるから決して新型コロナに再度かからないかと言えばそうでもないらしいのですが、先生曰く、症状はだいぶ軽くなるそうです。早々に行ってまいりました。保険外なので実費で5千円ほどかかりましたが、結果が出るのを楽しみにしています。本日結果が来ました。残念ながら陰性、

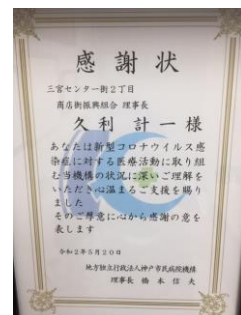


HL	102	NO/L	0.8-1.0
LDH	89	NO/L	0.8-1.0
トランスフェリン	42	NO/L	0.8-1.0
T-BIL	1.1	NO/L	0.2-1.2
コレステロール	110	NO/L	0.8-1.0
CEA	2.9	NO/L	0.5-5.0
CA19-9	18.2	U/L	0.7-0.007
膵臓がん	0.927	NO/L	0.00000
膵臓がん	(-)	(-)	(-)
GGT	0.0	U/L	1.0未満

コロナウイルスの抗体はありませんでした。残念です。皆様の中でもご自分の知らないうちに、新型コロナに罹患しているのではないかと案じられている方もおられるのではないのでしょうか。特にご高齢のご家族と同居している場合はなおさらです。気になっている方は竹村クリニックにお問合せください。竹村クリニック (サンプラザ3階) Tel.078-391-3131

★神戸市民病院から感謝状を頂きました

今回のコロナ禍で大変なご苦勞をされている医療界ですが、三宮センター街2丁目商店街振興組合でも神戸市民病院への感謝を表すべく、この5月中旬の三日間に亘り神戸ではステーキ・割烹料理で有名な“わ田る”さんのご協力を得て、延べ100食のお弁当を差し入れさせて頂きました。私達に出来るほんのささやかな志ですが、皆様にも大変喜んで頂けたみたいで、病院側から感謝状を頂きました。今は少しコロナも落ち着いて来た感がありますが、いつ第二波がやってこないとも限りません。その時はまた医療界に頑張ってもらくしかなく、その為にはまずお腹を満たしてという事で、これからもサポート体制は整えていく方向です。



★奥出雲酒造株式会社に御礼に伺いました



松江の南 中国山地の懐に抱かれた美しい奥出雲から今回のコロナ禍に対し、大量の次亜塩素酸水が届き早々組合員、近隣の組織の方々に配布し、大変感謝されました。その御礼に先日久利理事長が、生産された奥出雲酒造さん、奥出雲商工会の皆さんをお訪ねし、御礼を申し上げ今後益々の交流強化を約束しました。以前この地を襲った群発地震の際には私共からビニールシートをお届けした御縁もありました。



清らかな水に恵まれた仁多米、銘酒で有名なこの地の方々から

「お水が必要な時はいつでも駆け付けますよ」と力強いお言葉もいただきました。

★傘シェアリングサービス "アイカサ" 始まりました

特に都会ではビニール傘は私達の生活必需品になっています。しかしながらビニール傘の年間消費額はなんと400億円でこれはスカイツリーの建設費に相当するという莫大なもので、そのための年間二酸化炭素排出量は5万トンになり、森一つ分の二酸化炭素削減量に相当します。そこで考えられたのが「一緒に傘をシェアする時代へ」というシステムです。既に東京などではこのサービスが始まっており、東京に本社を置くベンチャー企業と関西では主に阪神電鉄・大阪ガス・神戸市が協力体制を取り、一時的なものではなく恒久的な制度にしていく方向です。利用料金も一日(24時間)70円で、一か月使い放題でも280円という低価格です。利用の仕方にもLINEで傘が借りられる簡単設計になっており、借りた場所以外でも返却が可能で、利用期間内であれば、一旦返却して再び借り出しても加算料金はありません。代金はアプリ内にてクレジットカードやLINE Payで支払い可能です。神戸市内での主なレンタル、及び返却場所は三宮近辺ではサンチカ・国際会館・みなと銀行本店・インフォメーションのHATENA・UMIEモザイク・市営地下鉄の主要駅などです。詳しくは「傘シェアリングサービス アイカサ」で検索してみてください。車・自転車などもそうですが、これからは傘も買うから“シェア”する時代ですよ！



★編集後記

兵庫県の緊急事態宣言も取り敢えず終了し、第2波のコロナは気がかりながらも、街には活気が戻り、少し安堵感の空気が流れています。ただ実際にこういった体験をしてしまうと私達の生活習慣も新たにせざるを得ません。でもだからといって潤いが感じられないような街にはしたくないものですね。罹患防止に全力を傾けながらも、人との繋がりはこれからも大事にして行き、街創りに活かしていきたいと思っています。例えば2丁目の通りを飾っているアート作品も作家の方達との人間関係があればこそ成立するものですし、わざわざ顧客の方々が店舗にお越し頂けるのも、商品の良さに加えた気持ちの繋がりがあればこそでしょう。こんな時代だからこそ生活のなかにアナログ的要素を取り入れて、いざという時の助け合いに繋がればと思っています。